

ベトナムの障害者と新型コロナ感染症禍 ——現地ジャーナルに基づく考察——

寺本 実

要約：

本稿執筆現在、ベトナムでは新型コロナ感染症の感染拡大が未だ続いている。ベトナムの障害者も、そうした中で暮らしている。現地調査の実施が困難であり、外国人が現地の状況を理解するための方途は限られている。そのため、本稿では現地ジャーナルで紹介された調査の結果に基づき、健康、経済、雇用・仕事の側面など、ベトナムの障害者の生活に関わる状況を理解しようと試みた。今回の作業を通して、新型コロナ感染症禍の発生前からさまざまな課題を抱えていた障害者の生活は、同感染症禍の下で、その脆弱性がより顕在化し、厳しい状況に直面していることが見えてきた。このことは、ベトナム以外の国・地域で暮らす障害者も、新型コロナ感染症禍の下で、それぞれのコンテキストにおいて、さまざまな諸困難に直面していることを示唆しているのではないと思われる。

キーワード：ベトナム、新型コロナ感染症、COVID-19、障害者、生活、現地ジャーナル

はじめに

ベトナムの障害者人口は、2016年末～2017年初めに実施された調査によれば、2歳以上人口の7.06%を占めており、620万人ほどとされる（Tổng cục Thống kê 2018：14-15）。初めての感染例が2020年1月23日に確認されて以降¹、ベトナムでも新型コロナ感染症との闘いが続けられてきたが、ベトナムの障害者も、そうした中で暮らしている（表1参照）。ベトナムでは、同感染症はCOVID-19と呼ばれているが、SARS-CoV-

¹ 2020年1月23日を感染例の最初とする理由は確認できていないが、医療省は滞在先の中国の武漢から同年1月17日に帰国したベトナム人3人が新型コロナ感染症に感染したことを、2020年1月30日に公表している（Nhân Dân 2020年1月31日付）。また、2020年1月14日にダナン国際空港で中国の武漢に住む2人（国籍は不明記）の発熱を確認し、隔離措置としたことが伝えられている（Nhân Dân 2020年1月16日付）。

2 というウィルス名称もよく聞かれる。ベトナムは、2003年3月初めに中国を経由した旅行者によりもたらされた SARS-CoV-1 との闘いを既に経験していた²。その怖さを知るベトナムは、当初から今回の感染症を「敵」と位置付け、感染者の隔離、感染発生区域の封鎖、公共の場におけるマスク着用の義務化、手洗いの励行などの対策を実施した。その結果、第1波～第3波期（～2021年4月26日）は、感染者数を一定数に抑えることに成功した。新型コロナ感染症の感染拡大防止に向けたベトナムの取り組みに関する本が出版されたほどであった³。

しかしながら、第4波以降、様相が変わった。本稿執筆中の2022年2月21日現在の感染者総数は、283万4373人に上り、その約99.9%を第4波以降の感染者が占める。死者数は3万9605人に達している⁴。先述したような措置だけでなく、ワクチン接種の推進や検査の実施に努め、5K（写真参照。マスクの着用、殺菌、人と人との距離をとる、集まらない、健康状況の申告）⁵と呼ばれる日常的取り組みの励行を継続的に呼びかけてきたが、感染拡大は続いている。

表1 ベトナムにおける感染の波と感染者数（2022年2月21日時点）

期間	感染者数（人）
第1波（2020年1月23日～7月24日）	415
第2波（2020年7月25日～2021年1月27日）	1,136
第3波（2021年1月28日～2021年4月26日）	1,301
第4波（2021年4月27日～ ）	2,831,521
感染者総数	2,834,373
死者数	39,605

（出所）医療省ウェブサイトに基づき、筆者作成。

² SARS (severe acute respiratory syndrome) は、日本語で重症急性呼吸器症候群と呼ばれる。2003年3月初め、中国を経由してベトナムのハノイを訪問していた中国系アメリカ人の感染が確認された。世界保健機構 (WHO) のハノイ事務所に当時勤務していたカルロ・ウルバニ医師がフレンチホスピタルに入院していた同患者の症状の異常に気づき、ベトナム人関係者などと共に尽力し、早期封じ込めに成功した。

³ Sài Gòn Giải phóng (2020年4月2日付)、Đại đoàn kết (2020年6月22日付)。

⁴ このうち本稿で紹介する論考の発行日時とのバランスの関係で、記述はそのままとするが、本稿の提出締め切り直前の2022年3月15日時点の感染者総数は647万3423人、死者は4万1548人に達している (tuoi tre ウェブサイト)。

⁵ これらの用語は、ベトナム語でそれぞれ khẩu trang (マスクの着用)、khử khuẩn (殺菌)、khoảng cách (人と人との距離をとる)、không tụ tập (集まらない)、khai báo y tế (健康状況の申告) と、いずれも K で始まるため、5K と呼ばれている。



5Kの実施を国民に呼びかけるベトナムの切手（筆者撮影）

こうした中、ここ2年間（2020～2021年度）、本研究会で予定していた現地調査は、実施できていない。そこで本稿では、現地で2021年12月に発行された Nguyễn Thảo Đan 2021 に基づき、新型コロナ感染症禍の下で暮らすベトナムの障害者の状況について理解を試みたい。

1. 障害者の暮らしに対する新型コロナ感染症禍の影響

本稿執筆現在、管見の限りでは、Nguyễn Thảo Đan 2021 は新型コロナ感染症禍の下でのベトナムにおける障害者の状況を主たる課題に据えて執筆された、唯一の論考である。同論考が掲載された労働・社会誌（*Tạp chí Lao động và xã hội*）は、ベトナムで障害者支援を担当する労働・傷病兵・社会問題省が発行するジャーナルであり、最新の調査結果の一部を用いて、状況を伝えている⁶。以上のことが、本稿で同論考の内容について検討し、紹介を試みる理由である。

⁶ 当該稿では、調査結果が全面的に開示、分析されているわけではない。同論考はあくまでも新型コロナ感染症禍の下で暮らすベトナムの障害者の生活に関する概況を伝えようと試みたものと考えられ、統計数字に関する表現には曖昧さも残されている。

(1) 調査の目的と手法

Nguyễn Thảo Đan 2021 で取り上げている調査は、新型コロナ感染症まん延下およびその後における障害者支援策について評価し、政府に建議することを念頭に、労働・傷病兵・社会問題省、国連機関が障害者組織とともに実施したものである。調査項目は、個人情報、健康、収入、雇用・仕事の状況、補助が必用な事項などについて問うものであった。調査の性格は、探査的調査に該当するのではないかと思われる。調査の実施に際しては、Google form、Survey Monkey を活用し、これらに電話および面談による調査・インタビューを組み合わせている。なお同調査は、全数調査ではなく、標本調査である。対象者の選定に際しては、性別、障害の種類、居住地（農村・都市⁷）の代表性を考慮し、タイ族、ムオン族、ヌン族などの少数民族⁸が、回答者の 4%超を占める（Nguyễn Thảo Đan 2021 : 30-31）。

(2) 調査結果の概要

ここから、Nguyễn Thảo Đan 2021 で紹介された調査結果について検討、考察する。必ずしも明示的ではないが、同論考では、大きく分けて次の 5 項目について取り上げられている。①障害者の健康と新型コロナ感染症、②障害者の経済生活と新型コロナ感染症、③障害者の雇用・仕事と新型コロナ感染症、④新型コロナ感染症禍の下の障害者支援の状況、⑤新型コロナ感染症禍の下の障害者の行動、である（Nguyễn Thảo Đan 2021 : 31）。それでは、以下、それぞれ見ていくことにしたい。

① 障害者の健康と新型コロナ感染症

表2 障害者の健康と新型コロナ感染症

項目	回答率*
新型コロナ感染症まん延前と比較して、自身の健康を守ることにより関心を持つようになった	82%
健康診断・治療薬・補助具・機能回復サービスといった医療ケアに関わるアクセスが困難	70%
マスクと消毒液の入手が困難	25%
基礎疾患により、健康への影響リスクが高まった	22%

(注) *文中の記述に従う。

(出所) Nguyễn Thảo Đan 2021:31に基づき、筆者作成。

⁷ 2020 年段階（暫定値）で都市部に 36.82%、農村部に 63.18%が暮らしている（Tổng cục thống kê 2021 : 95）。障害者については、8 割ほどが農村部で暮らしていると見込まれる。

⁸ ベトナムには、主要民族であるキン族を含め、54 民族が暮らすとされている。

表2は、障害者の健康と新型コロナ感染症に関わるものである。新型コロナ感染症のまん延により、80%以上の障害者が自身の健康保護について、それ以前よりも関心を持つようになった。その一方で、健康診断・治療薬・補助具・機能回復サービスなどへのアクセスが困難だと感じている人が、70%を占める。新型コロナ感染症の有無に関わらず、ベトナムの障害者の医療へのアクセスについては、(a) 経済状況、(b) 障害の程度、(c) 家族など周囲の主体との関係性、(d) 道路交通インフラの整備状況、(e) 移動手段、(f) 医療機関側の備え（医療専門家、薬、待合室、トイレ）など、さまざまな要素が影響を与えることが指摘されている（Teramoto Minoru 2019）。元々容易とは言えない状況にあった障害者の医療へのアクセスが、新型コロナ感染症禍により、さらに困難になっている可能性がある。また、新型コロナ感染症禍の下の生活で欠かすことができないマスクや消毒液の入手困難に直面している人や、自身の基礎疾患に伴う健康不安を感じている人が、少なからず存在することが分かる。

② 障害者の経済生活と新型コロナ感染症

次に、障害者の経済生活に対する新型コロナ感染症による影響について見る（表3参照）。調査を通じて、非常に多くの障害者が最貧困層に属していることが確認された⁹。経済的安全に不安を抱えている人が90%に達しており、毎月の収入が100万ドン（2021年12月末現在1ドル約22,600ドン）に達していない人が70%を超える。そして、新型コロナ感染症禍の下で収入が減少し、貯蓄を切り崩して生活している人が、約3割存在する。

表3 障害者の経済生活と新型コロナ感染症

項目	回答率*
経済的安全に対する心配	90%
毎月の収入が100万ドン未満	72%
新型コロナ感染症まん延下で収入が減少	28%
新型コロナ感染症まん延下で貯蓄を取り崩し	30%近く

（注）* 文中の記述に従う。

（出所）Nguyễn Thảo Đan 2021:31に基づき、筆者作成。

毎月の収入が100万ドン未満の人達が7割超を占めているという点については、新型コロナ感染症禍発生前に実施した筆者の調査でも、無職で収入源が政府扶助金のみという障害者が多数を占めており、そうした場合、障害者個人の月収は100万ドンに

⁹ 2016～2021年におけるベトナムの貧困戸基準額は、農村部で月収70万ドン/1人、都市部で月収90万ドン/1人（首相決定59号、2015年11月19日；政府議定7号、2021年1月27日）と定められていた。

満たなかった¹⁰。新型コロナ感染症禍発生の有無に関わらず、経済面に不安を持つ障害者が元々多かったという点には、留意する必要がある。

ここで注視すべきなのは、新型コロナ感染症禍の下で、実際に収入が減少し、貯蓄を切り崩しながら生活している人達が約 3 割いることだと思われる。例えば、ベトナムでは、路上で宝くじを売る障害者をよく見かけるが、人との直接的な接触を避けることを求められる新型コロナ感染症禍の下で、販売業績を上げることは、容易でないと思われる。新型コロナ感染症禍は、こうした人との接触を必要とする生業に従事する人達の経済生活を、直撃しているのではないかと推測される。

③ 障害者の雇用・仕事と新型コロナ感染症

表4 障害者の雇用・仕事と新型コロナ感染症

項目	回答率*
新型コロナ感染症のために失業した人	30% (に達する)
主体的に他の仕事を見つけた人	3%
収入を生み出す方法を加えることが出来た人	19%
新型コロナ感染症のために仕事時間が減少した人	50%近く
仕事をしているが、収入が減った人	59%
適期（季節）の仕事、非公式セクターの経営（仕事）に従事	71%

(注) *文中の記述に従う。

(出所) Nguyễn Thảo Đan [2021:31] に基づき、筆者作成。

雇用・仕事の問題（表 4 参照）は、当然のことながら上記した 1. (2) ②の問題に直結している。新型コロナ感染症禍の下で失業した人は 30%に達している。そして、労働時間が減少した人が 50%近く、収入が減った人が 59%と、新型コロナ感染症は、障害者の雇用、仕事に負の影響を与えている。1. (2) ②でも言及した路上での宝くじ販売や、お茶・おこわ等の飲食物販売、そしてマッサージなど、人と直接接する仕事を生業としてきた人達が、雇用・仕事面で大きな打撃を受けているのではないかと推測される¹¹。

適期（季節）の仕事・非公式セクターの仕事への就業が 70%を超えていることについては、障害者の就業状況は上記で若干示唆したように、元々こうした傾向を持って

¹⁰ 2019 年 10 月にホーチミン市郊外で実施した調査に基づけば、障害者個人に対する扶助金の最高額は 76 万ドンであった。そして、当該障害者のケアを行う家族構成員に対する扶助金支給が認められているケースでは、38 万ドンがケア実施者に支給されていた。

¹¹ Đại đoàn kết (2021 年 10 月 20 日付) が、ハノイで暮らす、お茶・おこわ販売を生業とする障害者家族、マッサージを生業とする障害者家族における生活状況の一端を伝えている。

いたと考えられる。新型コロナ感染症禍発生の有無に関わらず、ベトナムでは障害者雇用に積極的な関心を示す企業、組織、機関は未だ少ない。そのため、自身で仕事を見出さず、慈善人道組織や小さな作業所などで働く障害者が多い（Nguyễn Thị Mơ 2020 a :15, Nguyễn Thị Mơ 2020 b:31, Nguyễn Thị Mơ 2020 c:31）。筆者の調査でも、小規模な縫製品工場で働く障害を持つ人達や、小さなマッサージ所でマッサージ師として働く目の不自由な人達に会ってきている（寺本 2009:263-270）。

したがって、ここで注目すべきなのは、こうした就業傾向により、失業保険・社会保険といった公的保険網に対する障害者のアクセスに限界があることではないかと思われる。ベトナムの労働者全体でも、社会保険・失業保険に加入している労働者は、2020年度末段階で3割ほどに過ぎない（Hà Giang 2021:37）。特に経済的に余裕のない小規模経営の場合、雇い主が保険料の支払いを避けようとする傾向が見られる。社会保険については、農民・自由労働者などが加入する自主的加入社会保険制度も存在する。しかし、強制加入の場合と異なり、年金・死亡時手当のみが対象であり、病気などは対象から外れてしまう。こうしたことから、新型コロナ感染症禍で失業した障害者の多くが、公的保険制度に加入していれば受けることができる制度の適用を、受けられない状況にあるのではないかと考えられる。

④ 新型コロナ感染症禍の下での障害者支援の状況

新型コロナ感染症禍の下での障害者支援については（表5参照）、一番求められる支援として、大半の障害者が食料・食品を挙げている。それに続くのが、経済関連の支援である（Nguyễn Thảo Đan 2021:31）。しかしながら、実際にそうした支援を受けている人は、それぞれ10%台に止まっている。

また、新型コロナ感染症防止に関する情報については、67%の人が十分な情報を適宜得ているとしている。しかしその一方で、感染予防の方法について実際に指導を受けることが出来た人は3%に止まる。そして、マスク・手洗い液などの必要物資の提供を受けた人は、2割となっている。

表5 新型コロナ感染症禍の下での障害者に対する支援

項目	回答率*
新型コロナ感染症への一般的な対応活動に関する十分な情報を適宜得ている	67%
食品支援を受けている	16%
経済支援を受けている	13%
マスク・手洗い液など自身を守るための物資の支援を受けている	20%
正しい手の洗い方などウィルス感染予防法に関する指導を受けた	3%

（注）*文中の記述に従う。

（出所） Nguyễn Thảo Đan 2021:31に基づき、筆者作成。

新型コロナ感染症禍発生の有無に関係なく、通常、障害者のなかでも、社会扶助策の主な対象とされているのは、重度障害者と特別重度障害者である。障害者法によれば、障害の程度に関する判定は、末端地方行政単位の人民委員会委員長によって設立される障害度確定評議会（Hội đồng xác định mức độ khuyết tật）の場において、多数決で決められる。その構成員は、同評議会主席を務める当該人民委員会委員長と、当該地の診療所長、労働・傷病兵・社会問題担当者、祖国戦線・女性連合・ホーチミン共産青年団・退役兵士の会の責任者¹²、障害者組織責任者¹³からなる。労働・社会誌ウェブサイトに掲載記事によれば、300万人近くの障害者が、この証明書を取得しているという。同数字に基づけば、ベトナムの障害者人口の少なくとも半数以上が未だ証明書を取得していないことになる。こうした書類の有無も、障害者の支援制度に対するアクセスに影響を与えている（Nguyễn Thảo Đan 2021:31）。

⑤ 新型コロナ感染症禍の下の障害者の行動

新型コロナ感染症禍の下の障害者の行動に関連しては、視覚障害者に対するインタビューに基づき、その状況の一端が紹介されている（Nguyễn Thảo Đan 2021:31）。新型コロナ感染症禍の下でも、視覚障害者は、特に初めて行く場所に向かう時には、付き添いの人を必要とする。その際、付き添い者と一定の距離を保って移動、行動することは容易でない。そして、視覚障害者が周囲の物、方向を確認する際、時に直接触れてみることも必要となるが、新型コロナ感染症禍の下では衛生面で問題が生じる可能性がある。また、基本的に外出を控えることが求められており、社会扶助金の受け取りにも支障が出ている。移動の際のバスの利用もままならない。

視覚障害者の以上のような状況は、例えば身体の不自由な人達が街に出た時にも類似の問題に直面するであろうことを、容易に想像させる。新型コロナ感染症禍の下の暮らしにおいて必需品であるマスクの着脱も、障害を持つ人にとっては、けっして楽な作業ではないと思われる。

おわりに

ここまで、Nguyễn Thảo Đan 2021 で紹介された調査結果に基づいて、新型コロナ感染症禍の下におけるベトナムの障害者の生活状況を検討してきた。ベトナムの障害者

¹² 祖国戦線、女性連合、ホーチミン共産青年団、退役兵士の会は、それぞれベトナムにおける有力な政治社会組織である。

¹³ 障害者組織では、障害者・孤児扶助会（Hội bảo trợ người khuyết tật và trẻ mồ côi）が有名である。

は、新型コロナ感染症禍の下で、厳しい状況の下に置かれていると考えられる。本稿を終えるにあたり、これまで検討したことをまとめておきたい。

健康面では、障害者自身の健康に対する関心が高まっている一方で、診療・治療薬・補助具・機能回復サービスなどへのアクセスの困難に直面している人が、7割存在する。

経済・雇用・仕事面では、元々生活レベルが高いとは言い難い状況のなかで、新型コロナ感染症禍の下のさまざまな制約により、思うように仕事が出来ず、失業や収入減を経験し、貯蓄を切り崩しながら暮らしている人達が、少なくともそれぞれ約3割に達することが確認された。また、適期(季節)の仕事・非公式セクターの仕事への就業が70%を超えていることから、失業保険・社会保険に基づく制度の適用を受けることが出来ている障害者は、ごく限られているのではないかと考えられる。

支援受け取りの側面では、障害者が必要と考える食料・食品、マスク、手洗い液などの物的支援を受け取ることが出来ている人は、過半数に遠く及ばない。

そして行動面では、例えば視覚障害者の場合、特に初めて行く場所にアクセスする際、付き添い者の存在が必要となるケースもあるが¹⁴、新型コロナ感染症禍の下で求められる付き添い者との社会的距離の確保や、手探りで周囲の状況を確認する際に衛生面における注意が必要となるなど、行動上の制約に直面している。こうした視覚障害者の状況は、例えば身体の不自由な人達など、他のタイプの障害を持つ人達が直面するさまざまな制約、不便を容易に想像させる。

以上のことを踏まえると、新型コロナ感染症禍の下で生きるベトナムの障害者は、元々抱えていた脆弱性がより顕在化する形で、さまざまな側面で厳しい現実に直面していると考えられる。そして、このことは、ベトナム以外の国・地域で暮らす障害者も、新型コロナ感染症禍の下で、それぞれのコンテキストにおいて、さまざまな諸困難に直面していることを示唆しているのではないと思われる。

<参考文献>

〔日本語文献〕

寺本実 2009. 「障害者を主たる労働力とするベトナムの経済主体——国際参入期の適

¹⁴ 筆者が観察した限りでは、ベトナムは歩道整備の途上にあり、大きな段差、凹凸が存在したり、障害物が置かれているケースが多々見られる。視覚障害者誘導用ブロックの敷設も未だ進んでいない。

寺本実『ベトナムの障害者と新型コロナ感染症禍——2021年度「障害者のベトナム」研究会中間報告——』調査研究報告書 アジア経済研究所 2022年

応に向けた営み——」坂田正三編『変容するベトナムの経済主体』アジア経済研究所。

〔ベトナム語文献〕

Hà Giang (ハー・ザン) 2021. “BHXH Việt Nam: Thành tựu đạt được và các nhiệm vụ trọng tâm” (ベトナム社会保険——達成された成果と中心的任務——). *Tạp chí Lao động và xã hội* (労働・社会誌) Số 638 : 37-38.

Nguyễn Thảo Đan (グエン・ターオ・ダン) 2021. Những tác động của dịch bệnh Covid-19 đối với người khuyết tật (障害者に対する Covid-19 まん延の作用). *Tạp chí Lao động và xã hội* Số 660 :30-31.

Nguyễn Thị Mơ (グエン・ティ・モー) 2020 a. Lào Cai: Nỗ lực thực hiện đề án trợ giúp người khuyết tật (障害者支援提案実行のために努力——ラオカイ省——). *Tạp chí Lao động và xã hội* Số 630:14-15.

———2020 b. Hà Nam:Tạo điều kiện để người khuyết tật hòa nhập cộng đồng (障害者がコミュニティに溶け込むための条件を作る——ハーナム省——). *Tạp chí Lao động và xã hội* Số 631:30-31.

———2020 c. Bắc Giang: Ghi nhận những kết quả tích cực trong công tác trợ giúp người khuyết tật (障害者支援工作における積極的結果を書きとめる——バクザン省——). *Tạp chí Lao động và xã hội* Số 632:30-31.

Teramoto Minoru 2019. Chương 3 : Nghĩ đến quan hệ giữa người khuyết tật và y tế (保険 y tế) ở Việt Nam : Dựa vào nghiên cứu trường hợp tại một xã ở TP.Hồ Chí Minh (第3章 ベトナムにおける障害者と医療<医療保険>の間の関係に関する考察——ホーチミン市の一行政村における事例調査を通して——). Teramoto Minoru (chu biên), Nguyễn Thị Minh Châu (グエン・ティ・ミンチャウ), Nguyễn Thị Cúc Trâm (グエン・ティ・クックチャム), Lê Thị Mỹ (レー・ティ・ミ) 2019. *Độ bao phủ và mức độ sử dụng bảo hiểm y tế ở Việt Nam (Báo cáo giữa kỳ)* (ベトナムにおける医療保険の普及と浸透 中間報告書), IDE-JETRO : 47-67.

Tổng cục thống kê (統計総局) 2021. Niên giám thống kê 2020 (2020年ベトナム統計年鑑). Nhà xuất Bản Thống kê (統計出版社).

Tổng cục thống kê 2018. *Việt Nam Điều tra Quốc gia Người Khuyết tật 2016* (2016年障害者国家調査). Nhà xuất Bản Thống kê.

〔新聞〕

Đại đoàn kết (大団結)

Nhân Dân (人民)

Sài gòn Giải phóng (解放サイゴン)

〔ウェブサイト〕

医療省ウェブサイト (https://moh.gov.vn/tin-tong-hop/-/content/ngay-21-2-co-46-861-ca-covid-19-moi-so-ca-tu-vong-tang-hon-hom-qua?inheritRedirect=false&redirect=https%3A%2F%2Fmoh.gov.vn%3A443%2Ftin-tong-hop%3Fp_p_id%3D101_INSTANCE_k206Q9qkZOqn%26p_p_lifecycle%3D0%26p_p_state%3Dnormal%26p_p_mode%3Dview%26p_p_col_id%3Drow-3-column-2%26p_p_col_pos%3D1%26p_p_col_count%3D2)

労働・社会誌ウェブサイト (<http://laodongxahoi.net/tong-ket-chuong-trinh-tro-giup-nguoi-khuyet-tat-giai-doan-2012-2020-va-trien-khai-giai-doan-2021-2030-1317228.html>)

tuổi trẻ (若者) ウェブサイト (<https://tuoitre.vn/cap-nhat-so-lieu-tiem-vac-xin-va-ca-mac-covid-19-tai-viet-nam-20210510170100892.htm>)